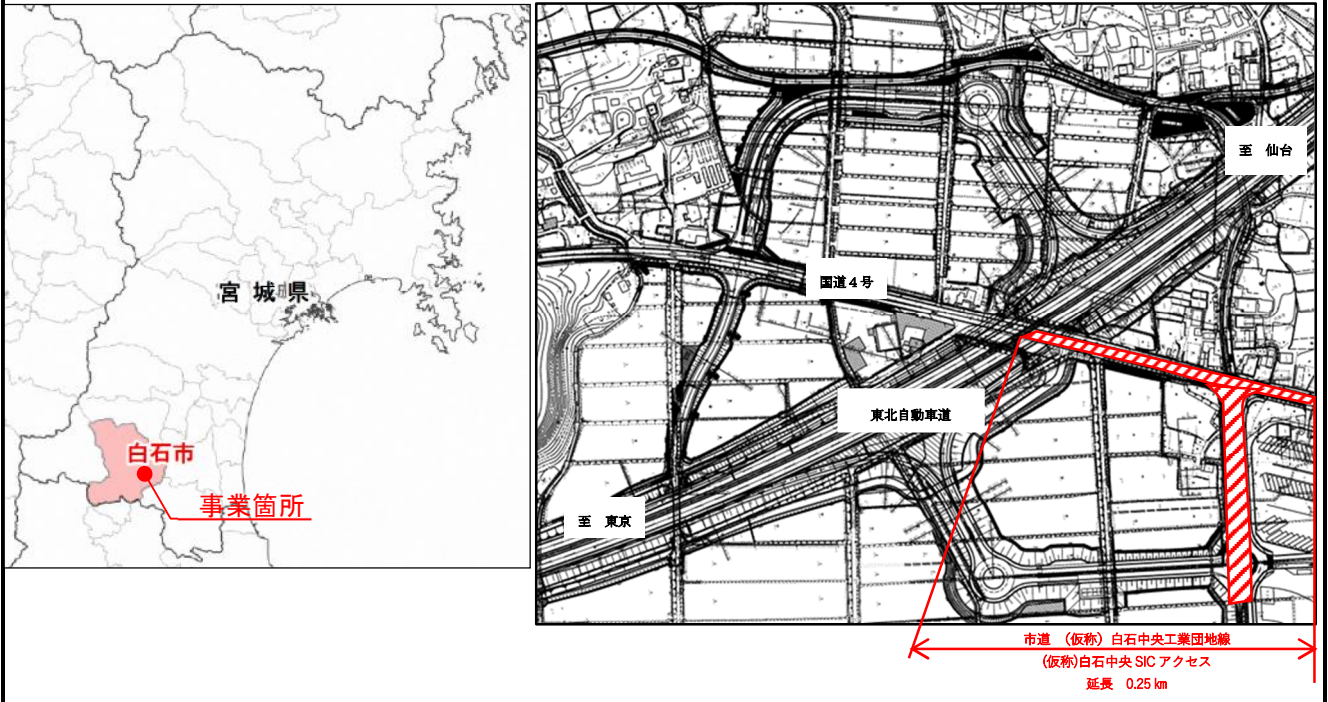


再評価結果（令和8年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 市道（仮称）白石中央工業団地線	事業区分	地方道	事業主体	白石市
起終点	自：宮城県白石市大平中目 至：宮城県白石市大平中目			延長	0.25km
事業概要					
市道（仮称）白石中央工業団地線は、（仮称）白石中央スマートインターチェンジのアクセス道路として、白石市の基幹産業である製造業を支援し、高速道路を活用した観光産業の活性化を目的に整備するものである。					
R3年度事業化		都市計画決定なし		R5年度用地着手	
R6年度工事着手					
全体事業費	約4.5億円	事業進捗率	約25%	供用済延長	—km
計画交通量	5,600台／日				
費用対効果分析	B/C （事業全体）	EIRR （事業全体）	総費用 （残事業）/（事業全体）	総便益 （残事業）/（事業全体）	基準年 令和7年
	1.6	6.7%	2.9/ 4.01億円	6.4/ 6.4 億円	
	2.4 [2%] 3.0 [1%] （残事業）		（事業費： 2.9/ 4.0億円 維持管理費： 0.01/ 0.01億円 更新費： -/ -億円）	（走行時間短縮便益： 6.0 / 6.0億円 走行経費減少便益： 0.40/ 0.40億円 交通事故減少便益： 0.00/ 0.00億円）	
	2.2 3.2 [2%] 4.0 [1%] （参考）	9.9%	（事業全体）	（残事業）	
		交通量 B/C=1.4～1.8（±10%） 事業費 B/C=1.5～1.7（±10%） 事業期間 B/C=1.5～1.6（±20%）	交通量 B/C=2.0～2.5（±10%） 事業費 B/C=2.0～2.4（±10%） 事業期間 B/C=2.1～2.2（±20%）		
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道へのアクセス性向上により、白石市の基幹産業である製造業の物流の効率化が図られる。 ・白石市中心市街地へのアクセス性向上により、新たな周遊観光ルートの形成が図られる。 					
関係する地方公共団体等の意見					
・地元住民、地元市議会議員及び地元商工会、観光協会から、本事業の早期完成を要望されている。					
事業評価監視委員会の意見					
・事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・白石中央スマートインターチェンジ周辺整備事業として、（仮称）道の駅しろいし整備事業が進められている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・用地進捗率100%、事業進捗率約25%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・工事は順調に進捗しており、引き続き早期供用開始を目指し、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・盛土材料の変更や物価高騰に伴う事業費の見直し等により全体事業費の見直しを実施。 ・新技術の活用検討を行い工法の見直しによるコストの縮減等、コストの縮減に努める。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)